



「人間の安全保障」と「質の高い成長」2018年10月号

震災でも崩れなかった蛇籠

(9月号「地方発、世界へ」を読んで)

青年海外協力隊でネパールに赴任した頃、崖の上に建っている学校の周りに「協力隊を育てる会」の支援で蛇籠の壁を造ってもらった。2015年の震災の後、現地から学校の崩壊を伝える写真が送られてきた。そこに写っていたのは、まったく崩れていない壁の姿だった。今号を読み、さらに安全な蛇籠の工法がネパールに伝えられていると知り感動した。(愛知県／30代／女性)

世界を変えた母子手帳に感動

(10月号「新JICA発足10年」を読んで)

母子手帳が世界に広がっていて、実際に乳幼児の死亡率を低下させていると知り、出産を経験した身としては目頭が熱くなりました。たかが手帳、されど重要な情報源。普及に尽力されたJICAの皆さまの素晴らしい活動に感動しました。これからも、もっともっと世界の子どもたちの状況を知らせてください。(長崎県／30代／女性)

《アンケートのお願い》

プレゼント付き

JICAや記事内容についてのご意見、ご感想をお待ちしております。また、こんな企画を実施してほしいなどのご希望もぜひお寄せください。お寄せくださった方の中から、抽選でプレゼントを差し上げます。下記項目をお書き添えのうえ、巻末のアンケートはがき、Eメール、またはファクスでお送りください。

- 氏名 ●住所 ●電話番号 ●年齢 ●性別 ●職業
- 本誌を入手した場所 ●面白かった記事 ●本誌へのご意見・ご感想
- JICAへのご意見・ご質問 ●ご希望のプレゼント番号

*お寄せくださったご意見・ご感想は、本誌やJICAのウェブサイトに掲載する場合があります。あらかじめご了承ください。ご記入いただいた個人情報にはプレゼントの発送および誌面の向上に役立てること以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◎応募締め切り 2019年1月15日

[2018年12月号のプレゼント]



① 書籍
『ウイルスは悪者か
お待先生のウイルス学講義』
高田礼人 著、萱原正嗣 構成
亜紀書房 1名様



② インドネシアのスカート
ウエストゴム、丈65cm
1名様



③ ベトナムの刺繍入り巾着
1名様

mundi

DECEMBER 2018 No. 63
編集・発行：独立行政法人 国際協力機構
Japan International Cooperation Agency (JICA)
〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25
二番町センタービル
TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396
URL: <http://www.jica.go.jp/>

制作協力：株式会社 木楽舎
〒104-0044 東京都中央区明石町11-15
ミキジ明石町ビル6F 『mundi』編集部
TEL: 03-3524-9572 FAX: 03-3524-9675
Eメール: ML_JICAPR@jica.go.jp

- アンケートの送付、定期送本、バックナンバーの取り寄せに関するお問い合わせは木楽舎までお寄せください。
- 本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。



定期送本のご案内

●申込方法

巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送本期間・送付開始月号を明記の上、所定の高額（送料+手数料）を郵便局でお支払いください。入金確認後、発送の手配をいたします。入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください。

*複数冊、またはバックナンバーをご希望の場合は送料が異なりますので『mundi』編集部（木楽舎）までお問い合わせください。

次号予告(2019年1月1日発行予定)

1月号 特集 JICA海外協力隊

約70か国で、2,300人あまりの隊員が現在活躍しているJICA海外協力隊。隊員たちは、自らの得意分野を活かして途上国の発展に貢献しています。志を同じくする仲間たちとともに学び、現地の人々と手を携え困難な課題に取り組む経験は一生の財産。派遣前の訓練から帰国後の日本社会での活躍まで、“いつか世界を変える力になる”協力隊と、彼らを支える人々の活躍に迫ります。

●本誌9月号30～35ページ「地球ギャラリー」の記事で、ジンバブエ共和国が「1965年に欧米列強支配からの独立」とあるのは、「1980年」の誤りでした。ここに訂正し、読者と関係者の皆さまにお詫びします。



『mundi』バックナンバーはJICAのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jica.go.jp/publication/mundi>